

3月1日～7日 春の火災予防運動

『家族が安全で安心して暮らせるために』

令和6年度防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

家庭の皆さんにお願い

☆ 住宅火災はこんなに多い

- * 令和5年中、全国でおよそ3万9千件の火災が発生し、半数以上のおよそ2万件が建物火災(住宅、工場など)でした。

☆ 家族を火災から守るために

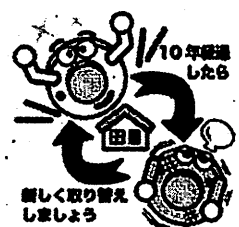
- * 一昨年、住宅火災によってお亡くなりになった方は1,023人。そのうち、65歳以上の高齢者が762人と74%を占めています。高齢者の方は避難に時間がかかり、火災の被害にあう可能性が高いため、住宅内で火災を発見した場合は避難を優先してください。

南但消防本部からのお願い

住宅用火災警報器は10年を目安に本体をとりかえましょう。

住宅火災によって亡くなる方の多くは、逃げ遅れによるものです。

火災を早く発見し、早く避難するために住宅用火災警報器を設置しましょう。

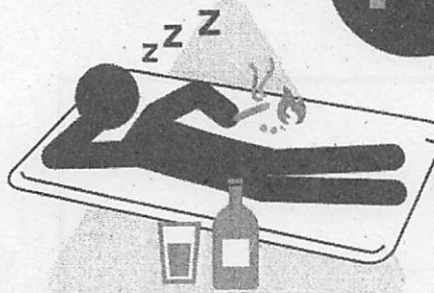


住宅 防火

いのちを守る

10のポイント

4つの習慣



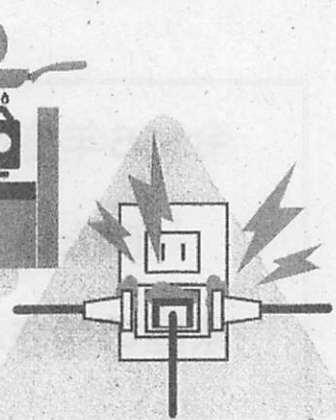
1 寝たばこは
絶対にしない、
させない



2 ストープの周りに
燃えやすいものを置かない

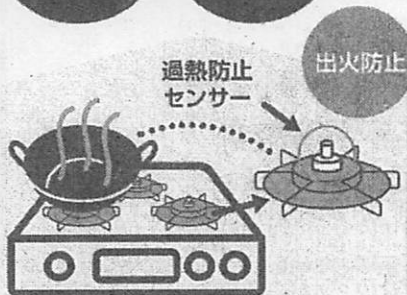


3 こんろを使うときは
火のそばを
離れない

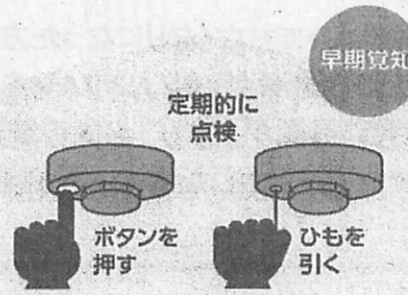


4 コンセントはほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、
ストーブやこんろ等は
安全装置の付いた機器を使用する



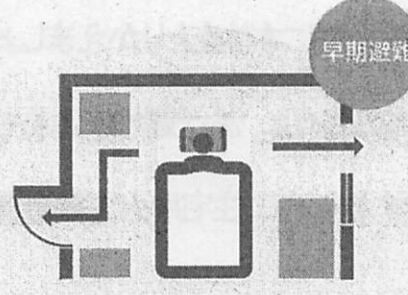
2 火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する



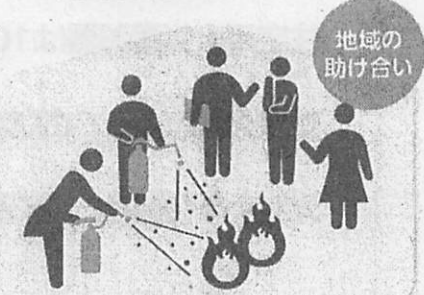
3 火災の拡大を防ぐために、
部屋を整理整頓し、
寝具、衣類及びカーテンは、
防火品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、
消火器等を設置し、
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく



6 防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う